

# 競先生の 知って得する 脳科学



## 人の気持ちを理解し思いやる! 共感力のある子はこう育てる

第10回

親ならだれもが、「わが子には人の気持ちが理解でき、思いやれる子に育てしてほしい」と願うでしょう。「思いやりのある子」というのは、まさに「共感力のある子」のことです。この能力は、「ミラー・ニューロン」を鍛えることで、赤ちゃんの時からトレーニングができます。ミラー・ニューロンとは、見たものをまねすることを司る神経細胞で、「モノマネ脳」「共感脳」とも呼ばれています。

見よう見まねは、行動や言葉の学習、さらには人の気持ちの理解にまで関係しています。他人の表情を見て、その人が今何を思ったか感じたりしているかは、ミラー・ニューロンが働いてわかる——つまり、脳内で相手の表情をまねする「コピー」しているのです。

コリンについて書かれた、日本で最初のレシピ本です!

『脳を育てる! 子どものためのブレインフード&レシピ71』

監修/久保田 競  
城南進学研究社  
1485円(税込)



大好評発売中!!

Profile

くぼたのうけん顧問 **久保田 競**

1932年大阪生まれ。京都大学名誉教授、医学博士、脳科学者。東京大学医学部・同大学院卒業。京都大教授、同研究所所長を歴任。2011年春、瑞宝中綬章を受賞。40年以上前から赤ちゃん育脳の意義を唱え続け、妻カヨ子氏とともに久保田式育児法を考案。「脳の発達に応じた教育」をいち早く提案している。

「気持ちなんだな」と相手と同じ感情を抱いているのです。

赤ちゃんのミラー・ニューロンを鍛えるには、「**顔まね**」が効果的です。満面の笑顔や大きく口を開けた顔など、特定の表情をしながらそのまま30秒ほど顔を見せて、赤ちゃんの名前を呼びましょう。赤ちゃんが顔まねを始めるようになったら、手を目の前でグーパーしたりしまししょう。すると、赤ちゃんも同じようにまねをするはず。うまくできたら、大げさにほめて赤ちゃんを喜ばせてあげてください。

最近では「KY」といって空気の読めない人も増えていますが、空気を読み、他者に共感することは、社会生活を送るうえで大変重要な能力です。また、**共感**は**子育てにおいて大切なこと**のひとつ。親が子どもに共感してあげられるほど、子どもは安心して育ちます。

# 田邊先生の 算数の不思議な世界



Profile **田邊 亨**

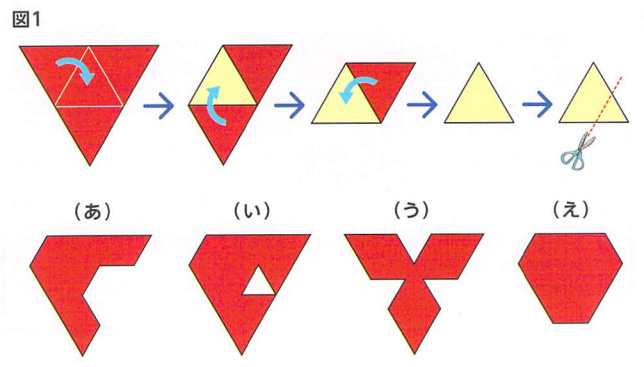
滋賀県出身。ニューヨーク市立大学及びペンシルバニア州立大学で学び、その後大手国際特許事務所、学習塾を経て、現在は彦根市でりんご塾を5教場運営している。2010年より、「りんご塾」として算数オリンピックに参戦し、毎年多数の受賞者を輩出している。長年の指導経験から、算数の早期教育の重要性や、算数好きな子どもを育てる家庭のあり方等についても全国で講演会を行っている。著書多数。



## 第5回 ▶ なくしたもののから答えを導く

「第8回キッズBEEトライアル」で、こんな問題が出されました。正三角形の紙を順に折っていき、その一部を切り離して展開図の形を問う問題です。この問題の落とし穴は、広げた紙の形に着目してしまうこと。すると、非常に難しくなります。

◆◆◆問題◆◆◆ たたんで切って広げる  
正三角形の紙を図1の順に折りたたんだ後、点線のところからハサミで切って広げました。広げた図は(あ)(い)(う)(え)のどれが正しいですか。



ところで形や型といいますと、身近な言葉に「型にはめる」というものがあります。「型にはめる」という個性を消すようで聞こえはよくありませんが、社会に適応させるという意味では大切です。義務教育には、単なる知識の伝達ではなく、子どもを社会的な存在にするためにカルチャー(耕す、洗練させる)するという側面もあります。義務教育を施すことは、教育を受ける側にも受け入れる側にも、安心安全というメリットがあるのです。一方で、集団からはみ出すことを恐れ、小さくまとまってしまうリスクもあるかもしれません。

さて、図形の話にもどりますが、開いた紙の形に注目せず、その欠けた部分を考えることで、簡単に解けるようになります。切り取る前、大きな三角形は中くらいの三角形が4枚重なった状態です。切り取るのは、そこからさらに小さな三角形4つ分です。ですから(あ)~(え)の中から4つの三角形が切り取られているものを選べばよく、答えは(あ)になります。正答率は54.4%、みなさん正解しましたか?

我々はそのところにあるものを見たり数えたりしますが、なくなったもの、消えたものを数えることで、答えを導くこともできるということです。義務教育によって我々の才能の芽は摘み取られてしまったのかもしれませんが、失くしてしまった才能に思いをはせ、まだ摘み取られていない子どもたちの才能を大切に育てていきたいものです。